

凡 例

1. 本報告書は、平成28年（2016）12月16日（金）に奈良文化財研究所平城宮跡資料館講堂において開催した平成28年度遺跡整備・活用研究集会“近世城跡の近現代”に関する報告書である。
2. 本研究集会は、「記念物の保存・活用に関する調査研究」の一環として、奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室が企画・主催し、内田和伸（遺跡整備研究室長）・マレス・エマニュエル（遺跡整備研究室アソシエイトフェロー）が担当した。参加者は、地方公共団体職員・研究者・実務者等、計77名であった。
3. 本報告書『近世城跡の近現代』の「Ⅰ 研究報告」に収録した論考は、上記の研究集会において発表した内容に総合討議での議論を踏まえて各発表者が作成または加筆修正したもので、発表者の所属は、研究集会開催時点のものである。「Ⅱ 関連論文・Ⅲ 事例報告」は、研究集会等での情報収集の後に編者が原稿依頼したもので、各報告者の所属は平成29年10月時点のものである。
4. 本書の編集は内田和伸が行い、渡邊佳奈の助力を得た。英文目次はEdwards Walter（奈良文化財研究所客員研究員）が校閲した。